



泰山木

ホームページ

<http://www.city-takaoka.jp/bakurou/index.html>

根っこ

筏井 田鶴子

やる木^き ゆう木^き 根木^{こんき}

子どもが大きくなるまでに心の中に育てたい力を、木に喩えた話を聞きました。

「やる木」は、「やる気」。

「ゆう木」は、「勇氣」。

「根木」は、「根気」。

子どもたちは、今まさにその木を伸ばそうとしている真っ最中といえるでしょう。学校での活動の中で、子どもたちは3本の若木を一生懸命伸ばしています。

友達との遊びの中で 学習の中で 地域の中で
この先、子どもたちが大きくなっていく中でいろんなことがあるでしょう。

もし、この3本の木のどれかが枯れそう
になったら、「なにくそ」のクソを肥やしに
がんばって育っていくものだ。

毎日元気に活動する子どもたちと共に過ごす、
この職業に就いて、折々に思い起こす話です。



木の根っこに ^{こえ} いい肥(声)を

この話を聞いて二十数年がたつ中で、3本の木はただ育つのではないと実感することが度々ありました。

木を育てるには、太陽の光やいい水、虫を食べてくれる鳥……。いろんな条件が木を大きく育てることにかかわってきますが、何ととっても土、肥えた土はとても大事なのです。……が

先日、我が家の畑でキュウリの苗が枯れてしまいました。「育て」とばかりにやった肥料が強く当たったのです。「早く」「大きく」と欲張ったから、育つどころか枯れてしまったのです。

子どもたちの3本の木の根っこには、何がいるのでしょうか。また、何がいらないのでしょか。

一番身近にいる私たちが、何の準備がなくてもできることがあります。それは、いい声をかけること。今日どんな声をかけたでしょう。

子どもたちの「なにくそ！」と自分への励ましと、私たち大人がかけるいい声(肥)が、「やる木、ゆう木、根木」が育つ手助けとなるでしょう。

子どもたちが、たくましい根っこを張り、伸びていくことを願って。